

鳴海周平の

全国ぶらり旅

札幌編



冬の北海道は厳しい寒さの中にも、
たくさんのお楽しみを見つけてくるのが出来ます。
11月の下旬から師走にかけて行なわれる
イルミネーションなどの
クリスマスイベントもそのひとつ。
今回のぶらり旅はクリスマスイベントで
有名な2つの会場を訪れてみました。



「今年は暖冬だつていうけど、やっぱり寒いねえ！」と思いつつ、札幌市大通りを歩いていた私の耳に「あそここの会場のホットワインは最高だよー。」と、通りすがりの人たちの会話が飛び込んできました。「えっ！ホットワイン!?!」これはからだが温まりそうじゃないですか、と早速会場へ向かいました。

その会場とはミュンヘン・クリスマス市。大通りのホワイトイルミネーション会場の西2丁目にありました。ドイツのミュンヘン市は、盛大なクリスマスイベントが開催されることでも有名なところ。札幌市では2002年に、姉妹提携30周年を記念して「ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」を開催し、今年



昨年8月に札幌に来たノワックさん。埼玉大学にも1年間留学していたそうです

で3回目を迎えます。
「寒いでしょう。どうぞ休んでいってくださいね。」
そういつて優しく声をかけてくださったのは札幌市で国際交流員として働いているドイツ人のセバステアン・ノワックさん。買ったばかりの



会場の名物サンタさんとノワックさんと一緒に記念撮影



ドイツのお菓子はどれも美味しいそう!!

美味しいホットワインとドイツのお菓子をいただきながら、ノワックさんにドイツのクリスマスのお話しを伺いました。

「クリスマスというのは、ドイツ人にとってとても大切な行事なんです。日本でいうとお正月みたいな感じかな。25日の第1クリスマスと26日の第2クリスマスは、ほとんどのところがお休みになって、家族でゆっくり静かな時間を過ごすんです。24日のクリスマスイブも家族で楽しく過ごしますが、日本では恋人同士のお祭りのような感じですよ。プレゼントの習慣ですか？ありますよ。家族でお互いに交換したりしますが、子供の頃は父がサンタクロースの格好をしてプレゼントを届けてくれました。どっかで見たとのあの顔だなあ、と思いながらも、とても嬉しかったことを思い出します。日本にはありませんが、アドベントカレンダーというのがあります。これは12月1日から24日までの日付が書かれた紙をクリスマスまで1枚ずつはがしていくのですが、残りの枚数が少なくなるにつれてワクワクしてくるんですね。ドイツの各都市では、この会場のようなクリスマス市が開かれていて、ホットワインやローストビーフ、焼き菓子、工芸品などが並びます。そんな雰囲気をご



出店していたマーカス・ボスさん。とっても美味しい料理でした

の札幌市で実現出来たことは本当に素晴らしいことですね。」

ノワックさんに案内していただきながら、会場内のブースをひとまわりしました。今年は工芸品やクリスマス飾り、ソーセージ、ドイツ菓子、ホットワインのお店など27ブースもの出店があり、うち3分の2はドイツからということでした。

「札幌市とミュンヘン市の親交を深めるためにもとても良いイベントだと思います。買い物やとりだけではなく、お店の人に気軽に声をかけて、ドイツのクリスマスのことなども聞いてみてほしいですね。」

ノワックさんのお話しとホットワインで、こちらもからだもすっかり温かくなりました。



「札幌で一番大きなツリーは、やっぱりファクトリーにあるジャンボツリーでしょ。」
 またまた、そんな話しを小耳に挟んでしまった私は、早速サップポロファクトリーへ向かいました。
 「これはデカイ！」
 全長16メートル、重さ3トンという巨大なトドマツに、クリスマスの飾り

付けを施したジャンボツリーは圧巻です。
 「でも、こんな大きな木をどうやって運んできたんだろう？」
 興味津々で質問をしたところ、広報担当の研谷さんとグループリーダーの大津さんから、お話しを伺うことが出来ました。
 「このツリーは、毎年広尾町のサン

ただただ圧巻のジャンボツリー。でもここまでの姿になるにはスタッフの皆さんの徹夜の努力があったのでした



タランドから贈っていたくんですよ。10月に搬入、設置をするんですが、これだけの大きさですからね。業者の皆さんにご協力いただいで、徹夜の作業になります。これがその時の写真ですけどね。」
 撮影開始が21時過ぎ、撮影終了が翌朝7時ころ。確かに徹夜の作業です。

「このイベントも今年で12回目です。ここサップポロファクトリーが出来た年からの行事ですからね。屋内になつたのは1997年から。改装で新しく出来たイベント広場で、お客様が喜んでくれるような企画をしたかったんです。作業は毎年たいへんですが、このツリーを嬉しそうに見てくれる皆さんを見ると、やって良かったなー、って思いますね。」

各地で行なわれているクリスマスイベントは、私たちに大きな「感激・感動」を与えてくれます。
 こうした「感激・感動」は、関係者の皆さんの「皆さんに喜んでもらいたい」という熱い想いの結晶でもあります。
 寒い冬のぶらり旅も、こうした熱い想いをもった皆さんとの出会いのおかげで、ポカポカ気分の旅になりました。